

平成30年 第2回帯広市教育委員会会議録

1. 平成30年2月6日 火曜日 17時 ～ 18時

帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教 育 長	嶋 崎 隆 則
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	塩野谷 和 男

3. 本日の議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名について

日程第 2 議案第 1 号 平成29年度帯広市一般会計補正予算について【非公開】

日程第 3 議案第 2 号 平成30年度帯広市一般会計予算について【非公開】

日程第 4 報告第 2 号 帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画（案）について【非公開】

日程第 5 報告第 3 号 教職員の処分について【秘密会】

嶋崎教育長

ただいまから、平成30年第2回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(佐藤企画総務課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、田中委員及び塩野谷委員を指名いたします。

ここで、会議の進め方についてお諮りいたします。

日程第2、第3及び第4の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第4号及び第6号により非公開に、日程第5の案件については、同規則第16条第1項第2号により、秘密会にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおり取り扱いたします。

これより会議を非公開といたします。

日程第2、議案第1号、平成29年度帯広市一般会計補正予算についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

各委員
嶋崎教育長

中野 部長

議案第1号、平成29年度帯広市一般会計補正予算についてご説明いたします。本日お配りしました議案書1ページからでございます。本案は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べようとするものでございます。議案書4ページをご覧ください。事項別明細書の歳出の欄でございます。教育費に係わる3月補正予算額は、上段左側の第50款、教育費、補正額の欄でございますとおおり、1,377万8千円であり、補正後の予算額は52億1,225万6千円となるものであります。補正予算の詳細については、事業別内訳表にてご説明申し上げます。7ページをご覧ください。社会体育施設管理運営費につきましては、燃料単価上昇を受けて施設の指定管理者に支払う管理運営費委託料を増額するものでございます。続きまして、8ページをご覧ください。既に予算計上しております各事業の財源の整理といたしまして、地方債を新たに借り入れることによります地方債限度額の変更を行うものでございます。事業内容の欄にありますとおおり、とかちプラザ施設整備費などの事業が新たに北海道市町村振興基金の貸付対象となったことなどから、地方債の限度額を変更しようとするものでございます。続きまして、9ページをご覧ください。寄附金に関して、一覧表にてご説明申し上げます。寄附金とその利息について、寄附者のご意向に沿いまし

て教育振興基金に165万2千円、こども学校応援地域基金に216万8千円、ふるさと文化基金に70万2千円、図書館図書整備基金に173万8千円、おびひろ動物園ゆめ基金に145万8千円、スポーツ振興基金に38万5千円を積み立てるほか、教育環境の整備に50万円を充てるものであります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

嶋崎教育長
各委員
嶋崎教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第1号、平成29年度帯広市一般会計補正予算については、原案のとおり了承することにご異議ありませんか。

各委員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第1号は了承されました。

日程第3、議案第2号、平成30年度帯広市一般会計予算についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

中野 部長

議案第2号、平成30年度帯広市一般会計予算についてご説明申し上げます。本日お配りしました議案書13ページからでございます。本案は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べようとするものでございます。平成30年度の一般会計全体の予算につきましては、15ページ下の表にございまして、818億9,600万円となっております。このうち学校教育部及び生涯学習部を合わせた教育費の平成30年度当初予算総合計額は、15ページ下から2つ目の表にございまして、49億9,809万3千円となっております。一般会計に占める教育費の割合は6.10%となり、前年度当初予算と比較いたしますと、同表の一番右側にございまして、1億7,144万3千円の減となっております。それでは、学校教育部関係の予算からご説明いたします。議案書の14ページをご覧ください。学校教育部関係の教育費予算総額は、表の上段に記載しておりますが、31億6,982万9千円となり、前年度と比べ1億4,310万6千円の減となっております。なお、各費目の内訳につきましては省略させていただきます。続きまして、平成30年度の学校教育部における主な事業につきまして、議案書17ページ、A3版の平成30年度学校教育部予算概要によりご説明いたします。内訳につきましては、帯広市教育基本計画に掲げる2つの基本目標と基本目標を実現するための基盤づくりの体系に従って整理しております。はじめに、上段、左側の次代を担う人づくりであります。まず、知識・技能の習得では、学力検査の実施によ

って、児童生徒の学力の実態を把握し、今後の指導に役立ててまいりますほか、児童生徒に係わる教材教具や教師用の教科書や指導書の整備を引き続き行います。また、南商業高校において、キャリア教育や社会人教育の推進に引き続き取り組んでまいります。次に豊かな心の育成では、こころの教室相談員や家庭訪問相談員、スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の悩み等に対応してまいります。また、いじめ・不登校・非行対策においては、適応指導教室や教育相談員などにより、個別相談・支援体制を引き続き推進し、未然防止や早期解決に努めてまいります。健やかな体づくりにつきましては、全国・全道大会への参加を支援し、体育系クラブの活動を促進するほか、食育指導専門員などによる学校での食育指導を推進いたします。また、学校給食センターの機能を生かし、地元産食材を活用するとともに、安全安心で魅力ある学校給食の提供に努めてまいります。人間を尊重し自然と共生する人づくりでは、次期学習指導要領における小学校での外国語授業の増加に対応するため外国語指導講師を増員するほか、引き続き南商生の国際理解教育を推進してまいります。次に右側をご覧ください。ともに学びきずなを育む地域づくりであります。ふるさとの理解の促進につきましては、毎年、小学4年生と中学2年で実施しております、郷土の自然や産業などに触れる体験学習を引き続き実施してまいります。続きまして、下段の基本目標を実現するための基盤づくりでございます。学校・家庭・地域の連携につきましては、こども学校応援地域事業の推進を通じて、学校支援地域本部をはじめとする様々な団体の交流を深め、人材の育成や活動の充実に取り組んでまいります。教育を支える人材の育成では、教員による研究を支援し、その成果の普及を図る教育指導推進事業などを実施してまいります。次に教育環境の充実につきましては、明和小学校及び稲田小学校のボイラー改修工事、学校トイレの洋式化、煙突用断熱材除去工事などを実施してまいります。教育機会の確保では、引き続き就学援助費の支給により、児童生徒の就学が困難な保護者への経済的支援を行いますほか、知的学級を愛国小学校に新設いたします。最後によりよい教育のためのしくみづくりにつきましては、引き続きエリア・ファミリー構想による幼保小中の連携を推進するとともに、帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画に基づきまして、前期対象校における地域検討委員会の設置及び個別計画の策定を行ってまいります。また、第二期帯広市教育基本計画の策定作業を進めてまいります。学校教育部関連の予算概要につきましては以上でございます。

草森 部長

続きまして、生涯学習部の予算についてご説明いたします。当日配付の議案書15ページをご覧ください。表の左上に予算総額としまして、18億2,826万4千円を計上しております。平成30年度当

初予算につきましては骨格予算となりますことから、前年度対比2,833万7千円の減額となっております。予算の概要につきましては、18ページの平成30年度生涯学習部予算概要によりご説明いたします。生涯学習部の平成30年度の予算編成にあたりましては、中央に記載してございます、ここに住むだれもが笑顔で世界に光り輝く帯広・十勝の実現という基本姿勢のもとに、市民が生涯にわたって学び、地域社会に参画することのできる環境づくり、学びの成果をまちづくり・市民福祉の向上に生かせるしくみづくりのほか、職員みんなの知恵と力を集め、職員だれもがチャレンジできる事業の組み立てなどの視点で編成に取り組んだところであります。本資料におきましては、学校教育部と同様に、教育基本計画に掲げます2つの基本目標と基本目標を実現するための基盤づくりの3つの体系に整理しております。はじめに、左上に掲載の基本目標の次代を担う人づくりのうち、知識・技能の習得では、市民大学講座事業や創造活動センター講座の開催などの学習機会を引き続き提供していくほか、動物園を中心とした帯広畜産大学との連携事業を継続する経費などを計上いたしました。次に豊かな心の育成では、ぶっくーる便など学校図書館の支援のほか、百年記念館における収蔵作品展の開催、帯広市民バレエ公演に要する経費など、市民がゆとりやうるおいを感じることをできる取り組みを進めてまいります。次に健やかな体づくりでは、第7回目となります、フードバレーとかちマラソン大会の開催など、子どもから高齢者まで、市民の日常的な体力づくりや健康づくりに取り組む活動を支援してまいります。次に資料の右上のともに学びきずなを育む地域づくりのうち、ふるさとの理解の促進では、ふるさとに関する市民の理解を促進するため、博物館講座などの各種講座やアイヌの伝統的生活空間イオル再生事業など、地域の歴史や文化を学び、理解を深める機会提供のための予算を計上いたしました。次に、きずなづくり・まちづくりでは、引き続き、生涯学習団体への支援により市民の自主的な学習活動を促すほか、スポーツ大会・合宿誘致に要する経費など、まちのにぎわい・交流につながる取り組みを進めてまいります。次に資料中央から下の部分、基本目標を実現するための基盤づくりのうち、学校・家庭・地域の連携では、図書館における食や健康に関する図書資料の整備のほか、百年記念館や動物園における親子を対象とした学習機会の提供など、社会教育施設による家庭教育などを支援してまいります。次に教育を支える人材の育成では、地域の作家の発表の機会であります地元在住者による美術展の開催や日本を代表するスピードスケート選手を講師に迎えるほっとドリームプロジェクト事業など、地域の人材の発掘や育成・活用の取り組みを引き続き進めてまいります。次に右側の教育環境の充実では、平成32年3月の供

用開始を目指し、新しい総合体育館の整備事業に引き続き取り組むほか、社会教育施設の修繕を始め、文化ホール大ホールの改修などの環境整備を計画的に進めてまいります。最後に、よりよい教育のためのしくみづくりでは、共通のテーマで開催する社会教育施設の連携事業に引き続き取り組むほか、次期教育基本計画策定に係る社会教育委員会議の開催経費を計上しております。平成30年度の当初予算は骨格予算となりましたが、市民との対話を重視し、市民のニーズやこれからの新たな新しいウォンツを的確にとらえながら、生涯学習の目指すべき方向の実現に向けて取り組みを進めていく考えであります。説明は以上でございます。

嶋崎教育長
藤澤 委員

これから質疑に入ります。

何点かお聞きしたいと思います。まず、学校教育部の予算の方で小中学校の教育用コンピュータ機器の整備とありますのは、増やすのか修理なのか、どのような整備でしょうか。それから、相談員・スクールソーシャルワーカーの人数について、前年度と比べて増員となるのか、そのままなのか教えてください。いじめ・不登校・非行対策について予算化されていますが、具体的な事項について教えてください。それから、小中学校のトイレの洋式化の進捗状況を教えてください。南商の方もトイレ洋式化を今回予算化されていますが、今年度だけで済むのか、来年度もあるのかお聞きしたいと思います。続けて生涯学習部の方で、文化ホール大ホール客席椅子更新工事が予算化されていますけれど、今後、小ホールでも椅子更新や改修の予定があるのかお聞きしたいと思います。とかちプラザでは、修繕料だけが予算化されていますが、他のものはないのかということをお聞きしたいと思います。

村木 課長

小中学校の教育用のコンピュータ機器の整備につきましては、各学校には大体40台ずつの教育用コンピュータをリースで整備しております。そのリース料と修繕に関する予算を計上したものでございます。

黒島 室長

ご質問の相談員・スクールソーシャルワーカーの配置につきましては、兼任と専任を含めて現年度の人数と同人数を新年度も予定しております。いじめ・不登校・非行対策につきましては、いじめ・不登校・非行対策会議を市内全小中学校の教員、関係機関等を含めた組織立てをしております。今年度は中学校区を中心としたエリア・サミットの開催ということで、小中学校の代表の子どもたちが複数名一堂に会し、いじめ・不登校をなくすための協議、交流を行ったり、いじめ・不登校のクリアファイルを作成したり、また、標語・ポスター等の募集も行って取り進めていくものでございます。

篠原 課長

小学校のトイレの洋式化につきましては、平成30年度に500万円の予算を計上しており、平成29年度現在、小学校50.2%の洋式

化率が16基の計上によりまして、53.3%となる予定でございます。今後につきましては、洋式化率の低い学校を重点的に洋式化に進めていく考えでございます。

樂山事務長

南商業高校のトイレの洋式化のご質問でございますが、平成29年度につきましては、校舎というよりは、避難所としての体育館の和式トイレを洋式化したものでございます。今現在、校舎については、移転後30年近く経ちますけれど、手つかずということで、平成30年度から順次洋式化に取り組むということで、30年度予算においては4基程度の予算をみているところでございます。現在の洋式化率は約15%、4基洋式化することにより21.7%となる予定でございます。

渡邊 課長

文化ホール小ホールの改修工事等の計画のご質問でございますが、現在2月4日から3月2日まで、舞台の緞帳装置の改修工事を行ってございます。

高橋 課長

とかちプラザの予算でございますが、修繕料だけなのかということにつきましては、とかちプラザの指定管理料1億7,600万円ほどございます他に、音響設備の賃借料などがこのプラザ費の中に含まれているものでございます。

藤澤 委員

ありがとうございます。

塩野谷委員

今の質問に関連して、トイレの洋式化の件ですけれども、このペースでいくと、すべて終わるのに何年かかりますか。それから、右下にあります、よりよい教育のためのしくみづくりの中で、第二期帯広市教育基本計画策定業務というのは、どのような内容か教えていただきたいと思えます。

篠原 課長

小中学校のトイレの洋式化につきましては、数値的な目標を現在持ち合わせておりませんので、何年度までにどの程度ということ、今後、長寿命化計画等の中で検討していくことになるかと考えております。

塩野谷委員

何年に終わるかわからないということですね。思い切って予算を付けるとか、子どもの数が減っているのであれば、半分だけでも改修するとか、スピードアップする方法は何かないのだろうかと感じました。

樂山事務長

南商業高等学校につきましては、先ほど答弁申し上げましたけれど、今まで校舎については手つかずで、今回の予算では、4年程度で50%まで引き上げたいということで取り組んだところでございます。ただ、市全体の予算編成になりますと、我々が当初要求した数字よりは、査定の段階で若干落ちたりしますので、4年が5年になることもありますけれど、大体こういったスパンで50%まで引き上げたいと考えてございます。

中野 部長

トイレの洋式化の進み具合のお話をいただきましたけれども、今

回予算に上げております学校トイレの洋式化につきましては、個別のトイレの洋式化ということで、今設置されているトイレを洋式化するための予算を全体で600万円ほど上げております。実際にはこの他に大規模改修という国の補助事業を導入して、学校の1階から3階までのトイレを、周辺の壁も含めた改修工事も入れております。直近では柏小学校のトイレ、西陵中学校のトイレも大規模改修をやっております。これを行いますと1校のトイレ全体が新しく変わります。個別のものと全体の大規模改修を織り交ぜながら、今進めているところでございます。先ほどご説明させていただいたとおり、今後はさらに長寿命化計画というものも作りながら進めてまいりたいと考えてございます。

佐藤 課長

私の方から第二期帯広市教育基本計画の策定業務のスケジュールについてお答えいたします。平成30年度76万2千円を計上しておりますが、内容は市民検討委員会に係る報償費、その他、事務的なコピー用紙代などの消耗品、通信運搬費等となっております。現在、事務局で計画の課題等の抽出を進めている最中でございます。その後、市民アンケート、市民検討委員会を開催し、中身を論議していただく予定となっております。生涯学習分野につきましては、社会教育委員会でも中身を検討していただく予定となっております。予定としましては、平成31年1月頃に検討委員より報告書を提出していただき、その後、教育委員会会議における課題研究協議会で進めていく予定でございます。

塩野谷委員

第二期というのは、いつのことを言っているのですか。

佐藤 課長

平成32年からでございます。

塩野谷委員

働き方改革についても、次期教育基本計画には盛り込む内容になるのでしょうか。

中野 部長

次の教育基本計画ということで、これから中身を検討いたしますので、具体的な個々の中身は申し上げられないのですが、今現在の教育基本計画においても、小中学校の義務教育の内容のほかに、これを支える教員のあり方、学校の施設等を含めた教育環境のあり方ということも計画内に入ってまいりますので、今、議論されております働き方改革を含めて、教職員の資質のより一層の向上や能力の向上を含めて計画を作っていくことになろうかと考えてございます。

塩野谷委員

それは第二期を待たないでも今年から着手するべき内容だと思います。

中野 部長

はい、取り組み自体は、教職員の働き方改革の部分ですが、既に教育委員会内部でもあり方の検討会議という組織を作って、検討、対策を練っております。昨年8月に対処方針というものを策定して取り組んでいるところでございます。引き続き検討してまいりたい

いと思います。

塩野谷委員
佐々木委員

わかりました。

2点質問したいと思います。17ページ、教育環境の充実の項目で、見守り活動による児童生徒の安全確保の予算は、主にどのようなことに使われるのでしょうか。もう1点は、南商生の国際理解教育の推進とありますが、具体的にどのような内容か教えてください。

佐藤 課長

見守り活動の内容でございますが、現在、登下校時に交通事故、不審者から児童生徒を守る事業といたしまして、各学校で行われておりますが、それに係わって、例えば、蛍光のウィンドブレーカーやカラーコーンなどの消耗品、切手代の通信運搬費の積み重ねで205万2千円となっております。

樂山事務長

南商生の国際理解教育の推進の624万円の内訳につきまして、半分以上がALT、英語指導助手の人件費、残りは姉妹都市の米国のマディソン市へ生徒5名を派遣するための旅費、報償費、補助金、引率する教員の旅費となっております。

佐々木委員
田中 委員

ありがとうございました。

何点かお聞きします。先ほど話が出ていましたコンピュータ機器の整備に関連しまして、4,044万円の予算ということで、すべてできるわけではないと思いますので、入れ替えるとする優先的に行うところはもう決まっているのでしょうか。それと骨格予算ということで、特別支援教育のところは新規事業になってはいますが、具体的に教えていただきたいと思います。もう1点、全般的な話で恐縮ですけれども、私が勉強不足なのかもしれませんが、LEDの関係について、教育委員会ではどう考えられているのでしょうか。私の聞いた限りでは、どの道LED化になっていく流れがあるのと、水銀が後何年かで完全に終わるという話がある中で、学校や公共施設等でも、どんどんLED化を進めていかなければならないだろうと思いますが、それについての議論はもう始まっているのかということをお伺いしたいと思います。

村木 課長

教育用コンピュータ機器の整備につきまして、これから新たに整備するわけではなく、今までに購入したもののリース料金となります。3年目、4年目の費用でございます。それから、特別支援教育の環境整備に208万8千円を計上しておりますが、そのうち知的学級の設置分として、来年度から愛国小学校に知的学級を新たに設置することから、教室の修繕や消耗品や備品等の購入費用として132万7千円を計上しております。その他の費用につきましては、他の学校でも、例えば情緒学級が2学級から3学級に増えることによる消耗品等の購入費用として計上しております。

篠原 課長

LED化につきましては、現在、体育館等で昇降式の水銀灯を使っておりますけれど、メーカーでは現在昇降式の水銀灯を作ってお

りませんので、故障した際には、LEDに取り替えている現状です。今後につきましても、費用対効果もありますので、現在検討を進めているところで、また、長寿命化計画の中でも検討していく形になるかと思えます。

田中 委員
嶋崎教育長

ありがとうございます。

他になれば、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第2号、平成30年度帯広市一般会計予算については、原案のとおり了承することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第2号は了承されました。

日程第4、報告第2号、帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画（案）についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬 部長

報告第2号、帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画（案）についてご報告いたします。昨年8月29日の平成29年第12回教育委員会会議において、計画（原案）をご報告したところであります。その後8月31日の建設文教委員会において、計画原案をご報告し、前期計画期間に検討が必要な学校に選定いたしました帯広小学校外7校の保護者や地域住民及び市民との意見交換会を9月下旬から10月に行ったところでございます。意見交換会での意見等も勘案し、前期対象校を選定し、計画案として取りまとめましたので、本日の教育委員会会議にご報告するものでございます。議案書は1ページからで、計画案は3ページからの本編、71ページからの修正箇所対照表、77ページからの概要版がございしますが、3ページからの本編にて、原案からの主な変更箇所についてご説明したいと思えます。最初に7ページ、2. 計画期間に本計画の見直しについて加筆したところでございます。次に14ページになります。③前期対象校の選定では、学校は教育だけではなく、地域コミュニティの役割も併せて有しており、前期対象校の選定にあたっては、保護者はもとより地域住民と課題認識を共有化し、取り組みの理解を得る必要がありますことから、前期計画期間に検討が必要な学校を対象とした保護者等との意見交換会を実施いたしました。意見交換会の意見や学校を取り巻く教育環境などから検討し、下記のとおり大空中学校を選定したところでございます。選定理由につきましては、大空中学校は市街地で最も小規模化が見込まれる中学校であり、学校の運営上の課題が懸念されること。意見交換会では小規模化の進行に対します課題認識が強かったことから選定したところでございます。次、15ページ、④前期対象校に選定されていない前期計画期間に検討が必要な学校への取り組みを新たに追加した

ところであります。対象校以外の学校についても、今後も小規模化が進むため、近隣校の交流などによって、子どもがより多くの仲間との学び合いなどを経験し、小規模化の課題の緩和に努めていくこと。併せて今後の取り組みの推進に向けて、保護者や地域住民への情報提供や意見交換などを行ってまいります。この項目に追加によって、12ページの中段のフロー図を修正しているところがございます。続きまして、15ページ、⑥後期対象校の選定に向けた作業として、毎年度、推計を行い、推計結果を情報提供し、小規模化などの課題認識の共有化を図ることを加筆いたしました。最後に67ページから70ページまで、資料3として、原案に関する意見交換会等で出された主な意見として、学校の様子、学校規模によるメリット・デメリットなど、項目毎に整理し、加筆したところがあります。この他、文言等の修正を行っておりますので、原案からの変更の詳細については、71ページからの修正箇所対照表に一覧としてまとめてございますので、そちらをご覧くださいと思います。なお、この計画案につきましては、2月14日の建設文教委員会に理事者報告をしてまいります。その後、16ページのフロー図にもありますとおり、③'の意見聴取を大空地区で行い、いただいた意見についても勘案し、教育委員会会議で決定する予定でございます。意見交換会では、本計画の取り組みの目的を丁寧に説明し、理解をいただけるように努めてまいりたいと考えております。その後、フロー図の⑥になりますけれども、保護者や地域住民の代表、学校関係者などで構成する地域検討委員会を設置し、子どもたちにとってより良い教育環境を整えるため、教育環境の整備のための手法や小規模校の影響の緩和に向けた取り組み、地域と学校の係わり方などの視点から協議していただき、いただいた意見等を具体的な取り組みを表す個別実施計画に反映し、取り組みを進めてまいりたいと考えております。説明は以上でございます。

嶋崎教育長
田中 委員

これから質疑に入ります。

大空地区ではいろいろな議論がされて、ご意見を伺っていると思いますが、出ている中では、具体的な検討を求める意見が大空中校区では多かったということですが、具体的にどんなご意見だったのでしょうか。改善、改革というご意見はあったのでしょうか。

広瀬 部長

説明の中では、手法は別にしてということで進めていったのですが、地域の方々の中には、大空小中の一貫教育校を求める声がありました。それがすべてではありませんが、多かったのは事実でございます。

田中 委員
塩野谷委員

ありがとうございます。

児童生徒数の減少が進んでいる中で、対象校を含めて近隣校との交流を通じてというお話がありましたけれども、非常に良いことだと

思います。具体的にはどういう交流が想定されているのですか。

広瀬 部長

近隣校との交流ということで、今、考えられることで申し上げますと、片方だけではなく相互に学校を訪問し合うことが1つあります。その中で新しい人間構築とか、社会性を培う取り組みなどを行っていくために、考えられる取り組みとしましては、例えば、体育や音楽、道徳、総合的な学習の中で、自分たちの学校だけではないことから、今の規模よりも大きな中で多様な意見が出てくると思います。遠足で合流するとか、児童会・生徒会活動や給食を食べるなどの取り組みが考えられると思います。それぞれの学校のカリキュラムもありますので、協議していかなければならないと考えております。

塩野谷委員

ありがとうございます。

藤澤 委員

大空中校区の意見交換会では、学校の小規模化の進行に対する課題認識が強かったということで、具体的な検討を求める意見が多かったとありますけれど、具体的な検討とはもう少し詳しく教えていただきたいと思います。

広瀬 部長

大空中校区の方々からいただいたご意見につきましては、生徒の減少によって部活動の選択の幅が狭いということ、一定の集団の中で学んでほしい。統合がしにくい地域なので、小中一貫が良いのではないか、併せて老朽化対策も行ってほしい。改築等にあたりましては、学校単独ではなく他の公共施設との複合化も考えるべきではないか。大空小学校についても、将来的には1学年1学級になることも一緒に考えていく必要があるのではないか。学校と地域のつながりという面では非常に強い地域でございまして、保護者も地域の方々もそうおっしゃってございました。

藤澤 委員

ありがとうございます。

佐々木委員

先ほどお話に出た15ページ④の学校同士の交流の話について、もう少し詳しくお聞きしたいと思います。部活動の選択の幅が狭まる大きなデメリットがありますけれど、体育だけではなくて、部活動については、現在、合同で行われることがあるのか、それとも、今後、予定されているのかどうか教えていただけますか。

村松企画監

中学校の部活動につきましては、これまでも小規模校に限らず、生徒の少ない種目については、合同部活動という形で部活動を実施している学校もあり、例えば、ソフトボール部は一緒に活動しております。今回、小規模校の連携という形で、学校がそれぞれ1つの部活動に絞り、取り組みを充実させてきている実態もございまして、連携が図られるということになれば、選択肢が広がって保護者や子どもたちの考え方も広がっていくと思います。部活動については選択肢の1つとして広がる可能性はございますが、それは学校間の話し合いで進められていくと考えております。

佐々木委員
嶋崎教育長

ありがとうございます。
他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。
これより会議を秘密会といたします。

(以下 非公開)

以上で本日の日程はすべて終わりました。
これをもちまして、平成30年第2回帯広市教育委員会会議を閉
会いたします。